

様式 6

平成16年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 研究種目名 研究集会 2. 課題番号 2004-W-06

3. 研究課題(集会)名 和文：火山ハザードマップの方法論  
英文：Methodology of volcanic hazard maps

4. 研究期間 平成16年 5月 8日 ~ 平成 年 月 日

5. 研究場所 東京大学地震研究所第一会議室

6. 研究代表者所属・氏名 東京大学名誉教授・荒牧 重雄  
(地震研究所担当教員名) 藤井 敏嗣

7. 共同研究者・参加者名(別紙)

8. 研究実績報告(成果)(別紙にて約1,000字A4版(縦長)横書)(別紙に作成)

10. 成果公表の方法(投稿予定の論文タイトル、雑誌名、学会講演、談話会、広報等)

月刊地球, 総特集, 日本の火山ハザードマップ(上), 2005年4月, 通巻310号

Vol. 27, No.4, p. 247-330.

月刊地球, 総特集, 日本の火山ハザードマップ(下), 2005年5月, 通巻311号

Vol. 27, No.5, p. 333 - 417..

## (別紙) 7 . 共同研究者・参加者名

共同研究者名	所属・職名	備考
藤井敏嗣	東京大学地震研究所・教授	
渡辺秀文	東京大学地震研究所・教授	
勝井義雄	北海道大学・名誉教授	
岡田 弘	北海道大学・教授	
林 新太郎	秋田大学・教授	
斉藤徳美	岩手大学・教授	
三宅康幸	信州大学・教授	
平林順一	東京工業大学・教授	
石原弘和	京都大学教授・教授	
安養寺信夫	砂防地すべり技術センター・課長	
宇井忠英	環境防災総合政策研究機構・理事」	
中田節也	東京大学地震研究所・教授	
鍵山恒臣	東京大学地震研究所・助教授	
佐藤 公	磐梯山噴火記念館・	
吉田真也	砂防地すべり技術センター・技師	
松井宗広	砂防地すべり技術センター・部長	
佐竹次郎	国際航業・技師	
鶴川元雄	防災科学技術研究所・主任研究員	
山崎 登	NHK・解説委員	
須藤 茂	総合産業研究所	
小山真人	静岡大学教育学部・教授	
木村拓郎	都市安全研究所	
千葉達朗	アジア航測・技師	
五味新一郎	アジア航測・技師	
土井宣男	岩手県防災	
泊 次郎	朝日新聞科学部	
須藤 茂	総合産業研究所	
小山真人	静岡大学教育学部・教授	
宮地直道	日本大学文理学部・助教授	
小宮 学	気象庁・課長	
藤井直之	名古屋大学・教授	
稲葉千秋	国際航業・	
塚本 哲	国際航業	
中村洋一	宇都宮大学・教授	
荒牧重雄	東京大学・名誉教授	

(別紙) 8. 研究実績報告(成果)

ハザードマップは厳密に言えば、防災マップと呼ばれるべきもので、単に物理的な破壊だけではなく、社会に与える損害を以下に少なく抑えるかを目的として作成されるマップである。又、日本の災害対策基本法によれば、防災対策に基本は地方自治体が作成する地域防災計画であり、ハザードマップはその一部をなすものと考えられる。

これまでに33個の活火山について、様式・形式の差はあれ、火山ハザードマップが作成され刊行されている。日本の要注意活火山の大部分はとりあえずマップが作成されたといえる。この機会に、各マップの作成に関与された学識経験者からの報告を受け、会合の最後には統括的な討論を行った。各マップごとに、(1)委員会の構成、作成母体の内容、(2)特に強調したい、よい特徴と改善を要する問題点について述べるように要請した。

最終的なまとめとして、(1)既存のハザードマップのデータベース化(デジタルファイルを含む)、(2)マップ作成後のアフターケアとして、地元に対する説明会、普及啓発活動、学校教育を通じての啓発の必要性、(3)ハザードマップに止まらず火山防災の基本計画やガイドラインの策定、地方自治体の体制の充実が必要であることなどが述べられた。最後に自由討論を行った。

当日の議事進行は次のようである。

10:00~12:00 各火山のハザードマップ(その1)

はじめに 荒牧重雄(日本大学)

北海道駒ヶ岳・十勝岳 勝井義雄

樽前山・雌阿寒岳 岡田 弘(北大)

有珠山 岡田 弘・宇井-

恵山・アトサヌプリ・鳥海山 宇井忠英(CeMI)

岩木山・秋田焼山・秋田駒ヶ岳 林 信太郎(秋田大)

岩手山 齊藤徳美(岩手大)

蔵王山 伴 雅雄(山形大)

吾妻山・安達太良山・磐梯山・那須岳 中村洋一(宇都宮大)

13:00~15:30 各火山のハザードマップ(その2)

草津白根山・箱根山 平林順一(東工大)

富士山 小山真人(静岡大)

浅間山 荒牧重雄(日本大学)

伊豆大島・三宅島 渡辺秀文(東大震研)

焼岳 三宅康幸(信州大)

御嶽山 藤井直之(名大)

雲仙岳 安養寺信夫(砂防地すべりセンター)

九重山 須藤靖明(京大)

鶴見岳・阿蘇山 渡辺一徳(熊本大)

霧島山 鍵山恒臣(東大震研)

桜島・鹿児島県の離島 石原和弘(京大)

15:30~16:40 火山ハザードマップの問題点と今後の課題

データベースからみた日本の火山ハザードマップ（中村）

作成した火山防災マップのアフターケア（宇井）

防災計画との緊密な関連の必要性（荒牧）

16:45～17:30 総合討論